

□教員養成に係る授業担当者の学位及び授業科目に関する業績

【専任教員】50 音順

氏名	秋澤 一輝	担当科目	陸上、陸上演習
学位	修士(体育学)		
業績 (教職に係るもの)	<学術論文等>		
	令和2年3月	インターネットを介したコミュニケーションツールの有効性:大学陸上部員を対象としたGoogleスプレッドシートの活用について 東海大学紀要体育学部第49号(pp.1~9)	
	<教育実践記録等>		
	令和3年3月	加速過程に見る有効なブロッククリアランスの検討～スターティングブロックのスタンスに着目して～ 東海大学大学院修士(26頁)	
業績 (教職に係るもの)	<その他>		
	令和3年2月	加速過程に見る有効なブロッククリアランスの検討～スターティングブロックのスタンスに着目して～ 東海大学大学院修士(26頁)	

氏名	浅見 奈緒子	担当科目	教科(理科)
学位	修士(理学)		
号 功 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成30年3月	「授業をつくる！最新小学校理科教育法～2017学習指導要領準拠～」 学文社(pp.76-77、pp.82-82、pp.90-95)	
	<学術論文等>		
	平成28年3月	「科学コミュニケーションの新たな可能性を探る試み～天文学と茶道～」 (共著)日本教育大学院大学研究紀要第9号9ページ	
	平成29年3月	「最先端科学技術を身近に」(単著)日本教育大学院大学研究紀要第10号6ページ	
	平成30年2月	「初等教育における天文学に関係する内容の取扱いについて」 星槎教育実践研究会「教育実践年報」No.1(pp.115-121)	
	<その他>		
	平成19年9月	なぜなぜどうして？ のコーナーでの質問への解答 誠文堂新光社「子供の科学」2007年10月号	
	平成24年4月～ 現在	大田区「おもしろ理科教室」おた理科博士	
	平成25年4月～ 平成25年8月	「これからの教育の話をしよう」第1回 これからの理科教育①、第2回 これからの理科教育②、第3回 私たちが理科を学ぶわけ(前編)、第4回 私たちが理科を学ぶわけ(後編)日本教育大学院大学連載	
	平成26年1月～ 現在	RikaTan「季刊 理科の探検」企画・編集委員	
平成26年8月	「日本教育」連載 15 いま、日本は『小惑星探査機「はやぶさ」がつなぐ次世代の宇宙開発』発行:公益社団法人 日本教育会		
平成28年10月	NHK 出版、池上彰「はじめてのサイエンス」内容監修協力(科学技術)		

氏名	阿部 利彦	担当科目	発達障害教育指導法(2)、多様な生徒の支援演習、多様な幼児・児童の支援演習
学位	修士(社会学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成26年3月	発達が気になる子のサポート入門	
	平成27年9月	発達が気になる子の子育てリフレーミング	
	平成29年12月	クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイルV3	
	<学術論文等>		
	平成25年3月	教育のユニバーサルデザイン化で目指す共生共育 星槎大学紀要『共生科学研究』No.13(pp.1-7)	
	平成26年3月	学びにつまずきのある子も支える3つのユニバーサルデザイン 日本LD 学会会報第92号(pp.10-11)	
	平成27年5月	授業で育むソーシャルスキル 星槎大学 附属研究センター研究集録Vol. 10(pp. 56-59)	
	平成28年3月	授業のユニバーサルデザイン化で目指す共生教育 平成27年度星槎大学共同研究助成プロジェクト研究論文集(pp. 73-89)	
	平成28年10月	研究校から学ぶ-授業、教室環境、人的環境のUD化- 授業UD研究(2) (pp. 30-35)	

氏名	天野 一哉	担当科目	教職概論(初等)、アクティブラーニング演習
学位	修士(文学士)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成20年3月	『平成19年度産業競争力強化人材育成事業委託費「キャリア教育のコーディネーター機能等に関する調査」報告書』、同別冊 経済産業省経済産業政策局産業人材参事官室	
	平成21年12月	「アメリカの『学校改革』をめぐる対抗と批判」 『人間と教育』 2009 冬号	
	平成23年5月	「〈共生〉と教育コーディネーション —米国チャータースクールの事例から—」(英文名 Educational Coordination for “Kyosei”—The Case of Charter Schools in USA —) 日本共生学会『共生科学』第二号	
	平成24年2月	「学力世界一の上海から日本の大学改革の欠点が見える」 『中央公論』中央公論新社	
	平成25年6月	『中国はなぜ「学力世界一」になれたのか-格差社会の超エリート教育事情』中央公論新社	
	平成26年6月	「プロジェクト学習の可能性」『研究紀要 94 号』教育調査研究所	
	平成28年4月	『共生への学び』改訂版 ダイヤモンド社	
	平成29年3月	「“日本の先生を応援する”とは」 日本教育大学院大学紀要『教育総合研究』10 号	

氏名	伊藤 一美	担当科目	知的障害児・者への心理・生理・病理
学位	修士(教育学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成21年8月	クラスで育てるソーシャルスキル(共著)	
	平成22年9月	小学校国語・算数 個々のニーズに応じた指導に役立つ教材・教具(共著) 明治図書	

		出版
平成24年6月		教材教育と特別支援教育のコラボレーション: 授業研究会の新たな挑戦(共著) 金子書房
平成29年3月		授業力&学級経営力 PLUS(共著) 明治図書
	< 学術論文等 >	
平成29年3月		算数障害の理解と支援(単著) 日本LD学会 LD 研究
	< その他 >	
平成24年4月～ 平成24年10月		(連載) 計算につまずきがある子どもの算数クリニック(単著) 実践障害児教育学習研究社
平成25年8月		計算のつまずきへの支援につながるアセスメント(単著) 実践障害児教育学習研究社
平成26年12月		小学生の発達相談—計算につまずいています—(単著) 児童心理臨時号 金子書房
平成28年8月		こころの科学 学習障害を支援する 計算のつまずきの理解と支援(単著) 金子書房

氏名	伊藤 玄二郎	担当科目	比較文化論
学位	学士(社会学)		
業績 (教職に係るもの)	< 著書 >		
	平成25年10月	「アラビア語版」	
	平成26年10月	「南蛮屏風下張文書のロマン」雑誌「星座」71号(かまくら春秋社)	
	平成27年7月	「南蛮屏風が残した文書」(毎日新聞社)	
	平成27年7月	「氷川丸 戦争と平和の航跡」(日本経済新聞社)	
		< その他 >	
	平成26年3月	神奈川県知事特別賞	
	平成27年12月	住田正一海事史奨励賞	
	平成28年7月	2016年山縣勝見賞特別賞	

氏名	岩澤 一美	担当科目	特別の支援と必要とする生徒の理解、特別の支援を必要とする児童・生徒の理解
学位	学士(教育学士)		
業績 (教職に係るもの)	< 著書 >		
	平成21年8月	クラスで育てるソーシャルスキル(共著) 日本標準(執筆担当部分:「こんな子どもには」)(p.62、75、90、104、129、130、143、144)	
	平成22年3月	新訂学習障害・学習困難の判定と支援教育(共著) 文教資料協会(執筆担当部分:第4章「当面する課題」の「3. 学齢前と高校、大学等でのLD等への教育的対応」の「2. 高校における対応」)(pp.155-160)	
	平成23年12月	新訂Q&Aと事例で読む 親と教師のためのLD相談室(共著) 中央法規出版(執筆担当部分:第5節「中学校・高等学校での教育の問題と対応」の2、3、4、5、8、9、10(pp.128-135、pp.140-145)	
	平成28年5月	改訂版 共生への学び—先生を応援する教育の最新事情(共著) ダイヤモンド社(執筆担当部分:第2章「必修領域」の「子どもの生活の変化を踏まえた課題」第8節)(pp.129-134)	
		< 学術論文等 >	
	平成27年3月	ソーシャルスキルトレーニングの効果に関する一考察～宮古島市の取り組みから考える～ 星槎大学共同研究論文集(pp.63-70)	
	平成28年3月	発達障害のいま 星槎大学紀要No.11(pp.28-34)	
	平成28年5月	道徳とSSTの共生	

	平成29年9月	星槎大学共同研究論文集(pp.63-72) 認知特異性に見るアクティブ・ラーニングへの取り組み～健常児と発達障害児の共生～ 星槎大学附属研究センター研究集録vol.11(pp.32-35)
--	---------	--

氏名	大嶋 英一	担当科目	国際関係論
学位	修士(物理学修士)		
業績 (教職に係るもの)	<学術論文等>		
	平成22年3月	中台経済関係の進展と台湾の自立性 (財)交流協会日台交流センター2009年度日台研究支援事業報告書 (http://www.koryu.or.jp/08_03_03_01_middle.nsf/2c11a7a88aa171b449256798000a5805/d4591ed821a85e9e492576eb003598cc/\$FILE/oshimaeiichi.pdf)	
	平成22年5月	四川大地震與災害救援国際合作之展望 黄大慧編『中国改革开放與東亜』(社会科学文献出版社2010年)(pp.79-84)	
	平成28年4月	「南洋の楽園」と国際政治 玉川大学観光学部紀要第3号(pp.57-64)	
	平成28年12月	南シナ海仲裁裁判と九段線 亜細亜大学アジア研究所報第165号(pp.1-3)	
	平成29年8月	国際関係論と社会に開かれた教育課程 星槎大学教職研究第2巻第1号(pp.73-78)	
	平成31年2月	中国の海洋政策と海洋法～中国の海洋法解釈と国家実行 習近平政権第1期総括』(アジア研究所・アジア研究シリーズNo.100(pp.183-224)	

氏名	大隅 心平	担当科目	道徳の理論・指導法(初等)、生徒・進路指導論(初等)
学位	学士(教育学士)		
業績 (教職に係るもの)	<学術論文等>		
	平成29年2月	「考え、議論する道徳」の可能性—学級経営の観点から— 日本教育大学院大学紀要教育総合研究第10号(pp.119-127)	
	平成30年3月	学級経営の充実をめざす道徳教育と学級活動との関連—生徒指導の視点から— 星槎教育実践研究会年報第1巻(pp.19-25)	
	平成30年3月	学級経営の実践課題—道徳教育と学級活動との関連 星槎大学紀要「共生科学研究」No.13(pp.38-52)	
	<教育実践記録等>		
	平成21年1月	確かな学力を育てる—基礎・基本を身につけ学び合う力を育てる指導の工夫— 新座市立栄小学校平成20年度紀要(pp.4-7)	
平成24年2月	豊かな学びの創造—身につけた力を活用し、自ら学ぶ子の育成— 新座市立片山小学校平成23年度紀要(pp.3-5)		

氏名	大野 精一	担当科目	教育相談(中等)
学位	修士(経済学修士)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成23年4月	よくわかる教育相談(共著) ミネルヴァ書房(pp.144-147))	
	平成26年2月	学校教育辞典第3版(共著) 教育出版(pp.215-216)(p.582)(p.669)	
	平成28年11月	学校心理学ハンドブック第2版(共著) 教育出版(p.147)(p.160))	
	平成29年9月	教師・保育者のための教育相談(共著) 萌文書林(pp.1-76)	
	平成30年3月	学校教育相談の理論と実践—学校教育相談の展開史、隣接領域の動向、実践を踏まえた将来展望—(共著) あいり出版(執筆担当部分:現段階での学校教育相談の概念規定とその解説 (pp.22-26)、学校コーディネーションへのシフト(pp.81-86))	

	<学術論文等>	
平成22年3月	Robert D.Putnam.(2000)BOWLING ALONE : The Collapse and Revival of American Community. New York:: SIMON & SCHUSTER PAPERBACKS , 541 pages 教育総合研究第3号 (日本教育大学院大学研究紀要)(pp.157-161)	
平成24年3月	Donald A. Schön(1983) The Reflective Practitioner: How Professionals Think In Action. Basic Books , 374 pages 教育総合研究第5号 (日本教育大学院大学研究紀要)(pp.93-98)	
平成25年3月	学校心理士としてのアイデンティティを求めて—教育相談コーディネーターという視点から— 日本学校心理士年報 第5号(pp.39-46)	

氏名	櫻永 卓三	担当科目	教科(図画工作)、初等教科教育法(図画工作)、保育内容の指導法(造形表現)、特例・保育指導法
学位	学士(教育学士)		
業績 (教職に係るもの)	<学術論文等>		
	平成26年3月	共生科学と図画工作科教育との連携について 共生科学研究No.9(pp.14-19)	
	平成29年3月	想像力(創造力)を育む図画工作科の授業デザイン 星槎大学教職研究第1巻(pp.79-86)	
	平成29年3月	中学年における紙工作指導のモデルプラン 研究論文集「共生社会の形成と学校教育」(pp.4-8)	
	平成30年2月	幼児教育における主体的な造形表現を引き出す指導法—豊かな感性を育む指導法— 星槎大学教職研究第2巻第2号(pp. 47-54)	
	平成30年月	図画工作科教育における主体的な深い学びを育む指導法 星槎教育実践年報(pp.43-54)	
	平成30年3月	幼児教育における遊びの意義—遊びと学びの共振— 研究論文集「次期学習指導要領を活用した共生教育」(pp. 1-6)	
		<その他>	
平成30年3月	通常学級のユニバーサルデザインと合理的配慮(中学年でのオブジェ工作) 児童心理No.1016 金子書房(pp. 75-80)		

氏名	金子 肇	担当科目	初等教科教育法(算数)	
学位	学士(教育学)			
業績 (教職に係るもの)	<著書・論文>			
	平成21年9月	「算数科実践研究」(横浜市立小学校5研究紀要)		
	平成21年9月	「教師力アップへの挑戦」教育出版 教育研究所		
	平成21年9月	「学習指導要領ヒストリア」(東洋館)		
	平成24年2月	「共に学び生きる力を育む指導の工夫」星槎大学研究センター編		
	平成24年2月	「共生科学研究序説」星槎大学共生科学研究会編なでしこ出版		
	平成27年4月	文部科学省委託「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上授業」実践報告集星槎中学高等学校編		
	平成27年6月	「こんなことで生徒が変わる」星槎中学高等学校編		
	平成28年3月	文部科学省委託「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上授業」実践報告集星槎中学高等学校編		
		<その他>		
	平成5年5月	横浜市教育委員会学校教育部次長		
	平成6年4月	横浜市教育委員会教育センター所長		
	平成6年7月	横浜市教育委員会学校教育部長		
	平成10年5月	横浜市国際学生会館館長		
平成14年4月	横浜市勤労青少年センター所長			

	平成17年4月	星槎中学校校長
	平成18年4月	星槎中学校高等学校校長

氏名	鬼頭 秀一	担当科目	風土と内発的発展、環境倫理
学位	博士課程単位取得(退学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成21年12月	『環境倫理学』(共著)(東京大学出版会)	
	平成22年3月	『人と自然のふれあい調査はんどぶつく』(共著)(日本自然保護協会)	
	<学術論文等>		
	平成20年4月	「環境倫理におけるホリスティックな視点とESD」『持続可能な教育と文化—深化する環太平洋のESD—』せせらぎ出版、157-164頁。	
	平成21年6月	「環境破壊をめぐる言説の現場から」『岩波講座 哲学 第8巻 生命/環境の哲学』岩波書店、151-170頁。	
	平成24年11月	「民俗学における学問の「制度化」とは何か」岩本通弥・菅豊・中村淳(編)	
	平成25年12月	『民俗学の可能性を拓く—「野の学問」とアカデミズム』青弓社、240-264頁。	
	平成27年3月	「統合的な教育的概念としての『環境教育』とその環境倫理的基礎付け」『学術の動向』第1巻(2013)第12号、10-14頁。	
	平成28年3月	「統合的な概念としての「共生」概念に向けて」『共生科学研究』No.10、29~34頁。	
	平成28年3月~平成29年3月	「自然の他者性と向き合う」『異文化コミュニケーション』第19号 19~30頁。	
平成30年10月	自然と共生可能な技術とは何か—有明海の再生に向けて(17頁) 『会誌ACADEMIA』No.168		

氏名	斎藤 俊則	担当科目	教育方法・技術論(初等)
学位	修士(政策・メディア)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成22年3月	情報の世界 放送大学教育振興会(pp.22-33)(pp.34-46)(pp.193-203)	
	<学術論文等>		
	平成22年3月	モバイル・メディアを活用したメディア・リテラシーの学習方略—携帯ワークショップの知見から 教育メディア学会論文誌・教育メディア研究, 第16巻, 第2号(pp.1-16)	
	平成22年9月	The Human Development Process and Informatics Education in the 21st Century (人間の発展プロセスと21世紀の情報教育) T., in Reynolds, N. and Turcsanyi-Szabo, M. (Eds.), Key Competencies in the Knowledge Society, IFIP TC3 International Conference, KCKS2010 Held as Part of WCC 2010 Proceedings (pp.354-360)	
	平成24年8月	公教育における情報教育の教育目的に関する検討 ケイパビリティの開発と情報教育の役割 情報処理学会・2012年度情報教育シンポジウム論文集(pp.131-138)	
	平成25年7月	An Examination of the Democratic Purposes of Informatics Education (情報教育の民主的な目的に関する一考察) Reynolds, N., Webb, M., Syslo, M., Dagiene, V. (Eds.), Learning While We Are Connected, WCCE2013 10th IFIP World Conference on Computer in Education Proceedings (pp.301-302)	
	平成26年7月	The key competencies in informatics and ICT viewed from Nussbaum's ten central capabilities (ヌスバウムの10の中心的ケイパビリティの観点から見た情報学及びICTのキーコンピテンシー) Brinda, T., Reynolds, N., Romeike, R. (Eds.), KEYCIT 2014 - Key Competencies in Informatics and ICT (Preliminary Proceedings)(pp.154-162)	
	平成27年3月	ユネスコ「教師のためのメディア情報リテラシー・カリキュラム」の日本での実践における課題 教育メディア研究, 第21巻, 第2号(pp.17-19)	
	平成27年6月	Informatics Education for the Democratic State of Society: A Discussion on the	

		Fundamental Reason and the Practical Aspects (民主的な社会状態のための情報教育: その根本的理由と実践的側面についての議論) 教育総合研究・日本教育大学院大学紀要, 第8号 (pp.43-50)
平成27年7月		Teaching Programming in Terms of Supporting Socially Vulnerable Youths: A Qualitative Study of Capability Expansion and Approaching Digital Equity through Computing Education (社会的弱者の若者支援の観点によるプログラミング教育: コンピューティング教育を通じたケイパビリティの拡大とデジタル・エクイティについての質的研究) (国際学会プロシーディング) Brodnik, A., Lewin, C. (Eds.). IFIP TC3 Working Conference "A New Culture of Learning: Computing and next Generations" Proceedings (pp.391-392)
平成30年2月		Educational Support on Computing and Informatics as Means of Empowering Disadvantaged Young People in Developed Countries (先進国における不利な状況にある若者のエンパワメントの手段としてのコンピューティングと情報学についての教育支援) Tatnall and M. Webb (Eds.): WCCE 2017, IFIP AICT 515, 2017. https://doi.org/10.1007/978-3-319-74310-3_52 (pp. 1-10)

氏名	齋藤 憲子	担当科目	教科(家庭)、初等教科教育法(家庭)、教育実習(初等) (1)(2)、教職実践演習(初等)、学校ボランティア I、II
学位	学士(教育学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成19年3月	小学校家庭科安全指導の手引き(共著)横浜市教育委員会	
	<学術論文等>		
	平成28年9月	家庭科における主体的・対話的・深い学びの実現に向けて ~学習指導案作りを通して~星槎大学教育実践研究発表会	
	平成28年9月	実践的指導力のある教員の養成を目指して~初等教科教育法(家庭)の授業の工夫~(単著)平成28年星槎大学共同研究助成研究プロジェクト研究	
	平成29年2月	実践的指導力のある教員を育てる~家庭科教育法での模擬授業をとおして~星槎大学教職研究第1巻(pp.17-24)	
	平成29年3月	実践的指導力のある教員を育てる~家庭科教育法での模擬授業をとおして~(単著)星槎大学教職研究第1巻	
	平成29年9月	共生教育としての家庭科~主体的・対話的な深い学び~ 星槎大学附属研究センター研究集録Vol.11(pp.9-13)	
	平成30年2月	実践的指導力の向上を目指して~製作学習における「主体的・対話的で深い学び」とは~ 教育実践年報No.1(星槎教育実践研究会)(pp.123-131)	
	平成30年2月	通信制大学における学校体験活動の在り方 星槎大学教職研究第2巻第2号(pp.161-168)	
	<その他>		
平成19年4月~平成23年3月	横浜市授業改善支援センター授業改善支援員として家庭科授業及び指導案作成について指導実績		
平成27年8月	秦野市教育研究会夏季実技研修会講師		

氏名	齋藤 やす子	担当科目	学校ボランティア(中等)、特別の支援を必要とする生徒の理解、教育実習(中等) I II
学位	修士(臨床心理学)		
業績 (教職に係るもの)	<学術論文等>		
	平成25年11月	キャリア発達をテーマにしたサイコエデュケーションプログラムの効果検証 1ーキャリアアンカーを中心にー(単著)日本産業カウンセリング学会	
	平成26年3月	キャリア発達をテーマにしたサイコエデュケイショナルグループの効果検討 (共著)跡見学園女子大学付属心理教育相談所紀要	
	平成26年9月	キャリア発達をテーマにしたサイコエデュケーションプログラムの効果検証	
	平成29年 平成29年9月	2ーキャリアアンカーを中心にー(単著)日本産業カウンセリング学会教育カウンセリングの実践方法と効果検証(共著)星槎大学紀要	

平成29年2月	「教育カウンセリング」の視点から、発達領域を生かした授業実践報告－高校生の国語「羅生門」から－ 星槎大学教職研究第1巻(pp.169-176)
平成30年2月	人間関係を築く力を育てる教育相談－アサーショントレーニングの活用法から 星槎教育実践研究年報No.1(pp.23-26)
平成30年3月	特別支援教育における「連携」について 平成 29 年度 星槎大学共同研究助成プロジェクト論文集(pp.66-71)
<その他>	
平成24年4月～ 現在	星槎大学のカウンセリングの基礎において、カウンセリング実習に関わる自主 作成教材を作成 星槎大学の教育カウンセリングにおいて、構成的グループエンカウンターに関 わる自主作成教材を作成

氏 名	坂田 映子	担当科目	教科(音楽)、初等教科教育法(音楽)、保育内容の指導法(音楽表現)、教育実習(初等)(1)(2)、学校ボランティア I、II
学 位	学士(家政学士)		
業 績 (教職に 係るもの)	<著書>		
	平成30年3月	最新初等科音楽教育法2017年告示、小学校学習指導要領準拠(共著) 音楽之友社(pp.136-177)、(pp.224-225)	
	<学術論文等>		
	平成22年7月	特定の課題に関する調査(音楽)調査結果(小学校・中学校) 国立教育政策研究所教育課程センター(pp.41-53)	
	平成25年1月	子どもを育てるための学習評価 Educo」 No. 30 教育出版(pp.6-8) 教育音楽小学校版7月号 音楽之友社(pp.38-39)	
	平成25年3月	連載「授業の流れが見える」指導案と展開法(4月号指導案の書き方) 教育音楽小学校版4月号 音楽之友社(pp.38-39)	
	平成25年5月	連載「授業の流れが見える」指導案と展開法(6月号器楽) 教育音楽小学校版6月号 音楽之友社(pp.40-41)	
	平成25年6月	連載「授業の流れが見える」指導案と展開法(7月号音楽づくり) 教育音楽小学校版7月号 音楽之友社(pp.38-39)	
	平成25年12月	連載「授業の流れが見える」指導案と展開法(12月号「表現」と「鑑賞」の関連) 教育音楽小学校版12月号 音楽之友社(pp.38-39)	
	平成26年1月	連載「授業の流れが見える」指導案と展開法(1月号音楽表現と動き) 教育音楽小学校版1月号 音楽之友社(pp.38-39)	
	平成26年3月	連載「授業の流れが見える」指導案と展開法(3月号感性を高め刺激する) 教育音楽小学校版3月号 音楽之友社(pp.38-39)	
平成29年10月	グローバル化時代の音楽科教育 鎌倉女子大学紀要第24巻(pp.129-136)		

氏 名	佐々木 伸	担当科目	国際ジャーナリズム論
学 位	修士(商学士)		
業 績 (教職に 係るもの)	<学術論文等>		
	平成27年11月	シリア、米ロ代理戦争へ —ロシア空爆で混迷広がる— 『インテリジェンスレポート』2015年11月号(pp.58-80)	
	平成28年6月	分断進む中東、宗派対立が激化—追い詰められるIS、欧州でテロ続発— 『インテリジェンスレポート』2016年6月号(pp.4-21)	
	平成29年2月	トランプ登場に揺れる中東—存在感増すロシア、困難なIS壊滅— 『インテリジェンスレポート』2017年2月号(pp.4-27)	
	平成29年10月	ISは死なず、ゲリラ戦に活路— カタールいじめ、ペルシャ湾波高し — 『インテリジェンスレポート』2017年10月号(pp.17-40)	
平成30年10月	ポストISも混乱終息の兆し見えず 『インテリジェンスレポート』2018年10月号 (pp.50-77)		

氏名	渋谷 聡	担当科目	陸上、バレーボール、陸上演習、スポーツ心理学、保健体育科指導法Ⅰ、保健体育科指導法Ⅱ、教職実践演習(中等)
学位	修士(体育学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成22年8月	スポーツメンタルトレーニング指導士活用ガイドブック(共著) ベースボール・マガジン社12ページ	
	平成27年7月	気になる子の体育 まずき解決BOOK—授業で生かせる実例52(共著) 学研10ページ	
	平成27年8月	スポーツ心理学を生かした「誰でもできる陸上競技練習法・指導法」(単著) 鎌倉春秋社 111ページ	
	<学術論文等>		
	平成27年3月	体育実技科目における通信制大学と通学制大学の比較(単著) 星槎大学紀要「共生科学研究」No.10 13ページ	
	平成27年11月	生徒に「共生の心」を育てることのできる保健体育教員の養成(体育実技編)(共著) 星槎大学附属研究センター研究集録 Vol.9 2ページ	
	平成28年2月	共生を理念とする保健体育教員の養成(共著) 平成27年度星槎大学共同研究助成研究論文集 11ページ	
	平成28年3月	スポーツ活動での言葉かけにおける競技者と指導者の認知の違いについて(単著) 星槎大学紀要「共生科学研究」No.11 3ページ	
	平成28年9月	スポーツにおける共生認識の特徴について(共著) 星槎大学附属研究センター研究集録 Vol.10 6ページ	
	平成29年2月	教育実践演習における保健体育科指導としてのアクティブラーニングの試み(単著) 教職研究 No.1 8ページ	

氏名	嶋田 優	担当科目	教科(国語)、初等教科教育法(国語)、教育実習(初等) (1)(2)、教職実践演習(初等)、学校ボランティアⅠ、Ⅱ
学位	学士(教育学)		
業績 (教職に係るもの)	<学術論文等>		
	平成21年3月	国語指導力向上推進校研究集録(共著)	
	平成21年3月	横浜市教育委員会 横浜版学習指導要領 総則(共著) 横浜市教育委員会	
	平成29年3月	国語科指導の未来を拓く～読むことの指導の現状と課題を踏まえて～(単著) 星槎大学教職研究 第1巻	
	平成29年3月	新たな教育の地平を拓くために～教育者としての林竹二の実践に学ぶこと～(単著) 共生社会の形成と学校教育 星槎大学	
	平成29年5月	小学校国語科における「書くこと」の指導の課題と展望(単著)	
	平成29年5月	星槎大学教師を目指す学生に対する大学教育の在り方 ～学校現場の現状、歴史的経過を踏まえて～(単著)星槎大学	
	<その他>		
	平成23年1月	横浜市立大鳥小学校の研究発表会で「確かな言語活動で豊かな国語の能力を育む」と題して講演	
	平成27年2月	神奈川県校長会の研究発表会で、現任校で取り組んだ「小学校外国語(英語)活動」の取組について講演	
	平成28年4月	国語の書写指導に関する教材や初等教育指導法に関する指導案作成に関わる教材作成	

氏名	高木 由起子	担当科目	体づくり運動、水泳、球技演習、保健体育科指導法Ⅱ、保健体育科指導法Ⅳ
学位	修士(体育学)		
業績	<著書>		

(教職に係るもの)	平成29年1月	月刊 実践障害児教育(共著)学研1ページ
	<学術論文等>	
	平成21年3月	大学教職員・学生を対象とした健康推進教室の試み(共著) 東海大学紀要体育学部第38号 6, 8ページ
	平成26年3月	バランスボード上で姿勢制御能力とそのトレーニング効果に及ぼす過去の運動経験の影響(共著) 東海大学紀要情報通信学部第 6号 4ページ
	平成29年3月	「共生」を意識した「体づくり運動」の実践と学生への影響(単著) 星槎大学 教職年報第1号
	平成29年3月	体づくり運動の授業における「気づき」と「調整」の具体的記述の必要性について(共著) 星槎大学教職研究第1号
	平成29年6月	スポーツを通じた共生教育 日本共生科学会抄録集(pp:52~55)
	<その他>	
	平成28年6月	共生を目指した通信制大学に通う大学生の体力の現状(共著) 日本共生科学学会
平成28年9月	体づくり運動における「気づき」「調整」「交流」(単著) 星槎教育実践研究会	

氏名	ダニエル ウッズ	担当科目	実践英語コミュニケーション I、英語表現(writing)、英語表現(presentation)、異文化間コミュニケーション
学位	St. Cloud State University卒業 米国 ミネソタ州立:BSE		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成24年1月	クレヨンせんせいのえいごであそぼう！(1)I KNOW ENGLISH アルファベット大文字とえいたんご250ご(単著) Jリサーチ出版(64頁)	
	平成24年1月	クレヨンせんせいのえいごであそぼう！(2)I KNOW ENGLISH アルファベット小文字とえいたんご200ご Jリサーチ出版(60頁)	
	<学術論文等>		
平成31年3月	Core Curriculum Shadowing(CCS) 星槎教育実践研究会年報No.2		

氏名	千田 光久	担当科目	特別支援教育論
学位	学士(社会学士)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成22年3月	「岩手の障がい児教育史」 岩手県障がい児教育史研究会(249頁)	
	<学術論文等>		
	平成19年10月	「エンパワメントを生かした授業づくり」障害児教育の現状岩手大学教員と附属養護学校教員との共同研究(61頁)	
	平成24年3月	「相互理解を求めて学校間交流40年」 岩手県特別支援教育ケース研究会33	
	平成26年3月	「自閉症の子どもへの指導実践」 岩手県特別支援教育ケース研究会35	
	平成27年3月	「東日本大震災における自閉症児等の被災状況と支援課題」 岩手県特別支援教育ケース研究会36	
	平成28年3月	「愛着障害と発達障害」 岩手県特別支援教育ケース研究会37	
	平成29年3月	「岩手県における「交流教育」「交流及び共同学習」の展開」 岩手県特別支援教育ケース研究会38	

	<その他>	
	平成21年6月	国立特別支援教育総合研究所の病弱専修研修講座での講義 「病弱教育特別支援学校における教育課程の在り方と実際」 奥州市立江刺愛宕小学校での講演
	平成27年11月	「インクルーシブ教育とユニバーサルデザイン授業」

氏名	坪内 俊憲	担当科目	問題解決のための国際協働論
学位	修士(獣医学修士)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成21年3月	地球環境と人間活動～次代を担う子供達に伝えたいこと(共著) 星槎大学出版会(pp.5-21)、(pp.61-116)	
	平成26年3月	共生への学び(共著) ダイヤモンド社(pp.156-163)	
	平成30年3月	共生科学概説「人と自然が共生する未来を創る(共著) 星槎大学出版会(pp.9-94)	
	<学術論文等>		
	平成28年3月	熱帯雨林との共生実践最前線 共生科学Vol.7(pp.87-95)	
	平成30年3月	高大連携授業「食・地球環境・地域環境・命の授業」教育実施における成果と課題 星槎大学紀要「共生科学研究」No.13(pp.3-9)	

氏名	手島 純	担当科目	教職概論(中等)、社会科・公民科指導法Ⅰ～Ⅳ、教職実践演習(中等)、特例・教職入門
学位	修士(教育学修士)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成26年2月	『高校教師が語る16歳からの哲学』 (彩流社)	
	平成29年5月	『通信制高校のすべてー「いつでも、どこでも、だれでも」の学校』(編著) (彩流社)	
	<学術論文等>		
	平成24年6月	「広がる格差社会と学校」『保健室6月号』 (農文協)	
	平成24年10月	「教員の意識調査」(神奈川県高等学校教育会館教育研究所)	
	平成26年8月	「教員の意識調査」(神奈川県高等学校教育会館教育研究所)	
	平成26年11月	「教育現場に強いられる不条理ー新聞記事を中心に」 『ねぞす54号』(神奈川県高等学校教育会館教育研究所)	
	平成28年2月	公民科教育法における「倫理」の授業づくりー「人間としての在り方生き方」にかかわってー (國學院大學教育学研究室紀要)	

氏名	土岐 玲奈	担当科目	特別の支援を必要とする幼児・児童の理解
学位	博士(教育学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成28年11月	続・移行支援としての高校教育ー大人への移行に向けた『学び』のプロセス」 福村出版(13ページ)	
	平成29年5月	「通信制高校のすべて」 彩流社(20ページ)	
	平成31年1月	「学習ケアの学校臨床学的考察」(単著) 福村出版(248ページ)	
	<学術論文等>		

	平成26年6月	「通信制高校の類型と機能」 日本通信教育学会平成25年度研究論集(13ページ)
	平成26年11月	「単位制高校における生徒の在籍状況把握事例とその特徴」 国立青少年教育振興機構研究センター紀要 第3号(13ページ)
	平成28年6月	『学習のケア』と『ケアとしての学習支援』 日本通信教育学会 平成27年度研究論集(5ページ)
	平成28年6月	「公立通信制高校のエスノグラフィー」 日本通信教育学会 平成27年度研究論集(16ページ)
	平成29年3月	「多様な教育機会の確保と学習権保障－高校教育との比較」 千葉大学教育学部研究紀要 第65巻(10ページ)
	平成30年6月	「公立通信制高校における包括的生徒支援」 日本通信教育学会 平成29年度研究論集(16ページ)

氏名	仲久徳	担当科目	教育方法論(初等)、教育方法論
学位	修士(教育学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成23年4月	授業づくりの教育学(共著) なでしこ出版、東京教育学研究会編著 132頁	
	平成24年2月	共生科学研究序説(共著) なでしこ出版、星槎大学共生科学研究会編 169頁	
	平成25年9月	教材事典－教材研究の理論と実践(共著) 東京堂出版616頁	
	平成28年4月	教材学概論(共著) 図書文化 210頁	
	<学術論文等>		
	平成26年8月	多文化共生教育の視点に立った地域教材に関する基礎的研究(共著) 星槎大学 附属研究センター研究集録 Vol.8 pp.38-41 4頁	
	平成27年11月	教育方法論における多様な学びの経歴をもつ学生が共に学ぶ授業の意義(単著) 星槎大学附属研究センター研究集録 Vol.9 pp.29-30 2頁	
	平成28年3月	情報メディアと授業づくり・模擬授業指導に関する研究(単著) 平成27年度星槎大学共同研究助成研究プロジェクト研究論文集 pp.103-112 10頁	
	平成28年9月	「教育の情報化」に関する教員研修と教材(単著) 星槎大学附属研究センター 研究集録 Vol.10 pp.44-50 7頁	
<その他>			
平成24年10月	模擬授業指導における教材提示方略に関する研究(3)(単著) 日本教材学会第24回研究発表大会研究発表論文集 pp.128-129 2頁		
平成27年10月	模擬授業指導における教材提示方略に関する研究(4)(単著) 日本教材学会第27回研究発表大会研究発表論文集 pp.156-157 2頁		

氏名	永井 礼正	担当科目	算数
学位	博士課程単位取得後退学		
業績 (教職に係るもの)	<学術論文>		
	平成21年3月	「日本教育大学院の『学校における実習』初年度報告と分析」 日本教育大学院大学紀要第2号	
	平成22年3月	「日本教育大学院の『学校における実習』2008年度の総括と今後の展望」 本教育大学院大学紀要第3号	
	平成25年3月	「分数計算のもう一つの解説法—有理数の構成的アプローチ—」 日本教育大学院大学紀要第6号	
	平成26年3月	「教員の質の向上のインセンティブとしての教員採用試験」 日本教育大学院大学紀要第7号	
	平成29年3月	「すべての教科に数学の力を」 日本教育大学院大学紀要第10号 特集「共生教育実践研究」	

	平成29年3月	「初等中等教育における統計教育」 日本教育大学院大学紀要第10号
--	---------	-------------------------------------

氏名	西永 堅	担当科目	発達障害概論、知的障害児・者への支援、発達障害の判定とその教育的対応Ⅰ、発達障害の判定とその教育的対応Ⅱ
学位	修士(教育学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成22年3月	学習障害・学習困難の判定と支援教育(共著) 文教資料協会	
	平成23年11月	新訂 Q&A と事例で読む 親と教師のための LD 相談室(共著)	
	平成24年月	中央法規共生科学研究序説(共著) なでしこ出版	
	平成26年3月	共生への学び(共著) ダイヤモンド社	
	平成26年5月	復興は教育からはじまる(共著)明石書店	
	平成29年2月	基本から理解したい人のための子どもの発達障害と支援のしかたがわかる本 (単著)日本実業出版社	
	<学術論文等>		
	平成24年7月	発達遅滞乳幼児の早期教育に関する研究-インドにおけるポーターページプログラムの発展について-(共著) 星槎大学附属研究センター研究報告書 No.5	
	平成26年10月	The leisure activities of people with developmental disabilities(共著)The 21th Asian Federation on Intellectual Disabilities Conference, New Delhi, India. Full Pape	
	平成27年11月	ネパールにおけるポーターページプログラムの普及活動(共著) 星槎大学附属研究センター研究集録 No.9, 72-75	
	平成27年11月	生きものの多様性とインクルージョン教育 その4(共著) 星槎大学附属研究センター研究集録 No.9, 90-92	
	平成28年3月	星槎大学初代学長山口薫先生を悼んで(単著)行動分析学研究, 30, 124-127	
	平成28年6月	生きものの多様性とインクルージョン教育(共著) 共生科学 No.7, 46-58	
平成28年9月	スリランカにおけるインクルーシブ教育(単著) 星槎大学附属研究センター研究集録No.10, 80-83		

氏名	西村 哲雄	担当科目	初等教科教育法(理科)
学位	修士(農学修士)		
業績 (教職に係るもの)	<学術論文等>		
	平成27年3月	「共生科学と初等教科教育法(理科)の役割について」—理科をしっかりと教えることができる教員養成のために— 星槎大学研究紀要 No.10(pp.41~47)	
	平成29年2月	「初等理科における指導方法の工夫・改善—実感を伴った理解を図るための地層モデルの有効性について—」 星槎大学教職研究 第1巻(pp.9~16)	

氏名	仁平 義明	担当科目	教育心理学、教育心理学(初等)
学位	文学修士		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成22年3月	『子どもに障害をどう説明するか—すべての先生・お母さん・お父さんのために—』 (共著)	

平成24年7月	『ルポ・発達障害-あなたの隣に』(分担執筆)
平成26年3月	『こころが育つ環境をつくる—発達心理学からの提言』(分担執筆)
<学術論文等>	
平成20年	Contrasting Rorschach test results in Asperger's syndrome and high-functioning Autism.
平成21年	Sex differences in object location memory: The female advantage of immediate detection of changes.
平成21年	「人間力育成のパラダイム・シフト—ハーディネス(心の頑強さ)からレジリエンス(心の回復力)へ—
平成21年	ネガティブな体験の肯定的な語り直しによる自伝的記憶の変容
平成21年	統合失調症の大学生に対する卒業をゴールとしない支援—学生相談のもう一つの方向—
平成21年	The effect of negatively worded measures of self-esteem on children.
平成22年	アスペルガー障害学生の学業支援
平成23年	高校生になぜ心理学教育をするのか—大学と高校の心理学教育のちがいを—
平成24年	子どもの虐待と心の回復(レジリエンス)の指標
平成25年	“サイバーいじめ”に関する研究の動向—対応のためのエビデンス—
平成26年	Autistic children have difficulty perceiving a face as the global feature of a compound stimulus
平成27年	「自尊感情」ではなく「自尊心」が “self-esteem” の訳として適切な理由— Morris Rosenberg が自尊心研究で言いたかったこと—
平成28年	自閉症スペクトラム者の家族のレジリエンス
平成28年	ほめられてなげうれしいか、ほめられたのになげうれしくないか—「ほめ研究ゼミ」の教育
平成29年	エビデンスに基づく「いじめ対応」最前線

氏名	東 智美	担当科目	アジアの近代と社会
学位	博士(社会科学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成21年4月	「はかる」ことが暮らしに与える影響(共著) メコン・ウォッチ(pp.29-64)(pp.109-123)	
	平成22年3月	熱帯アジアの人々と森林管理制度—現場からのガバナンス論—(共著) 人文書院(pp.66-84)	
	平成22年12月	アジア環境白書(共著) 東洋経済新報社(pp.230-240)	
	平成25年5月	NGOから見た世界銀行:市民社会と国際機構のはざま(共著) ミネルヴァ書房(pp.187-214)	
	平成28年10月	ラオス焼畑民の暮らしと土地政策:「森」と「農地」は分けられるか(単著) 風響社	
	平成30年9月	Dead in the Water(共著) University of Wisconsin Press(pp.106-140)	
	<学術論文等>		
	平成25年12月	The Impacts of Village Relocation and the Shifting Cultivation Eradication Policy on Swidden Farmers in Northern Lao Peoples's Democratic Republic(共著)	
	平成26年3月	資源管理政策が引き起こす資源の破壊~ラオスの土地・森林管理政策が焼畑民の土地利用に与えた影響~ 博士論文—橋大学大学院	

氏名	平岡 麻里	担当科目	実践英語コミュニケーションⅡ、英語表現 (conversation)、英語演習(1)
学位	学士(文学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成25年6月	『聴くだけ！やさしい英会話』 DHC出版(96ページ)	
	平成26年8月	『IELTS完全対策&トリプル模試』 DHC出版	
	平成27年5月	『マネるだけ！やさしい英会話』 DHC出版(80ページ)	
	平成27年8月	『聴くだけ！やさしい英会話 とことんリアル編』 DHC出版(96ページ)	
	<学術論文等>		
	平成21年7月	‘Traditional Image of Japan as a <i>Monozukuri</i> Country, with Special Reference to Education in Japan and Cool Japan Abroad.’ IEEE, The 2009 International Professional Communication Conference Proceedings, IEEE PCS, CD-ROM(6ページ)	
	平成22年5月	‘The Images of the Japanese Education System as a Possible Model for Reforming British Education, 1868-1914.’ The History of Education Researcher, History of Education Society, U.K., 85(10ページ)	
平成27年11月	‘A Modern Utopia? Images of the Japanese Education System in Britain, c.1860-1914.’ (Ph.D.学位論文) UCL Institute of Education, University of London(310ページ)		

氏名	細田 満和子	担当科目	社会学、医療社会学、公衆衛生学
学位	博士(社会学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成24年1月	パブリックヘルス 市民が変える医療社会、明石書店	
	平成24年5月	復興は教育からはじまる、明石書店	
	平成24年5月	「チーム医療」とは何か、日本看護協会出版会	
	平成25年8月	知って得する予防接種の話、東洋経済新報社(オンライン出版)	
	平成27年1月	グローバル共生社会へのヒント、星槎大学出版会	
	平成27年8月	現代医療の支持構造—コメディカル(第5章)[新版]現代医療の社会学—日本の現状と課題、中川輝彦・黒田浩一郎編、世界思想社	
	平成29年1月	Bhutan Education, Globalization, and Preservation of Traditional Language, Challenges Associated with Cross-Cultural and At-Risk Student Engagement, IGI Global, PP.27-41.	
	<学術論文等>		
	平成25年5月	Living with a Misunderstood Disease, EJAIB, Vol. 23 (3), 70-72.	
	平成26年4月	インクルーシブスポーツの課題と可能性、共生科学研究、No.19, 136-144,	
	平成28年11月	障害者差別解消法の社会的意味、臨床作業療法、Vol.13, No.5, pp.437-439	
<その他>			
平成27年から	日本保健医療社会学会理事、社会学系コンソーシアム評議員		
平成27年から	International Sociological Association RC15 理事		
平成29年から	Asia Pacific Sociological Association 会長		

氏名	保屋野 初子	担当科目	環境社会学
学位	博士(環境学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成26年3月	流域管理の環境社会学—下諏訪ダム計画と住民合意形成(単著) 岩波書店(202ページ)	

	平成26年8月	緑のダムの科学—減災・森林・水循環(共著) 築地書館(pp.213-229, pp.230-237)
	平成27年4月	社会的共通資本としての森 横川山の入会の変遷と「流域コモンズ」の可能性(共著) 東京大学出版会(pp.105-132)
	<学術論文等>	
	平成22年10月	恩恵と災害リスクを包括する住民主体の流域管理に向けて——砥川流域協議会の事例から—— 『環境社会学会研究』第16号(pp.154-168)
	平成23年12月	包括的実在としての流域における新たな「流域管理」に向けて——砥川流域における河川計画をめぐる事例を中心に—— 東京大学大学院博士論文(174ページ)
	平成25年2月	日本の水道の「過剰」「過疎」問題と水ガバナンス 『生活協同組合研究』2013年2月号 Vol.445(pp.13-20)
	平成26年12月	流域治水の時代へ—河川管理者よ、洪水とともに川の外に出よう『世界』 岩波書店, 2014年12月号no.863(pp.231-239)
	平成29年4月	ヨーロッパにおける流域政策の展開と日本の課題—EU水枠組み指令の『統合』が示唆すること 『日本の科学者』Vol.52 2017年5月号 日本科学者会議(pp.30-35)
	平成29年5月	Possibility and necessity of the integration of the wise use of wetland into river basin management: the case of Watarase-yusuichi湿地研究Wetland Research, Vol7(2017) 日本湿地学会(pp.17-23)
	平成29年6月	水道未普及地域—「水道」に大きな問いを投げかける小さな存在 『都市問題』 Vol.108 2017年6月号 後藤・安田記念東京都市研究所(pp.104-112)

氏名	堀川 徹	担当科目	歴史概説Ⅰ、日本史Ⅰ・Ⅱ、日本史演習
学位	博士(文学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成29年6月	知っておきたい歴史の新常識(共著) 勉誠出版(4ページ)	
	平成29年10月	国造制・部民制の研究(共著) 八木書店(21ページ)	
	平成30年3月	日本古代の氏族と政治・宗教上(共著) 雄山閣(18ページ)	
	<学術論文等>		
	平成26年3月	評制の史的前提と史的意義に関する覚書 古代文化研究22号(13ページ)	
	平成28年7月	武蔵国造の乱と橘花ミヤケ—七世紀以前の南武蔵— 史叢95号(13ページ)	
	平成30年2月	評制の展開と国司・国造 ヒストリア266号(27ページ)	

氏名	丸本 茂樹	担当科目	特別活動の指導(初等)、教職実践演習(初等)、教職実践演習(中等)
学位	学士(教育学)		
業績 (教職に係るもの)	<学術論文等>		
	平成29年9月	子どもたちの現状と特別活動(初等)の果たす役割—通信制大学教員養成課程における特別活動の進め方—(単著) 星槎大学教職研究第2巻	
	平成30年2月	教職実践演習の授業に取り組んで—成果と課題・今後の取り組み— 星槎大学教職研究 第2巻第2号(pp.33-39)	
	<その他>		
平成28年4月～	アクティブラーニングを意識した実践事例		

平成29年3月	小机小学校の特別活動「学級会」の校内研究の中で、学級の問題を発見するプロセス(学級の現状や問題について共有する話し合い、解決を必要とする共通の問題を議題化、集団決定を必要とする自治的な話し合い、話し合いをもとに実践活動、振り返りの場を設定し、次の活動につなげる。)を重視した授業展開をするよう指導・助言
平成28年8月～ 平成28年12月	教育実践演習(専門教科 中社・高公民)の中で生徒にどのようにしてアクティブラーニング型の授業展開を図るかの指導法を教授し、その後、意見交換。 指導案作成の中にアクティブラーニングの内容を盛り込み、模擬授業でも展開

氏名	三輪 建二	担当科目	生涯学習論
学位	博士(教育学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成21年9月	おとなの学びを育む:生涯学習と学びあうコミュニティの創造(単著) 鳳書房(334ページ)	
	平成22年3月	生涯学習の理論と実践(単著) 日本放送出版協会(271ページ)	
	平成24年2月	生涯学習社会の展開(共著) 玉川大学出版部(pp.156-167)、(pp.168-180)	
	平成30年3月	おとなの学びとは何かー学び合いの共生社会(単著) 鳳書房(298ページ)	
	<学術論文等>		
	平成26年3月	省察的实践者をめざして:専門職の力量形成 産業技術大学院大学FDフォーラム報告書(pp.1-12)	
	平成26年12月	成人が学び続けるということードイツ連邦共和国の成人教育 Voters35号(pp.20-21)	
	平成30年3月	成人教育学と看護教育:成人学習者への学習支援論 『上智大学大学院看護学紀要』第3号(pp.3-13)	

氏名	大和 洋子	担当科目	異文化理解、英語演習(2)、教職実践演習(中等)、英語科指導法Ⅰ、英語科指導法Ⅳ
学位	博士(教育)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成27年2月	『CLIL英語と地図で学ぶ世界事情』(共著) 三修社(pp.36-41)、(pp.42-47)	
	平成29年3月	『国際バカロレアの現在』(共著) ジアース教育新社(pp.69-72)。	
	平成30年3月	『国際バカロレアの挑戦:グローバル時代の世界標準プログラム』(共著) 明石書店(pp. 135-154)、(pp.319-335)	
	<学術論文等>		
	平成24年10月	「国際バカロレアの現在 ³⁶ 香港におけるIB校の実例」 『文部科学:教育通信』2014年12月8日号(pp.28-31)	
平成27年3月	「香港の大学入試における格差是正措置ー教育機会の拡大と能力主義の徹底ー」 『アジアの大学入試における格差是正措置』高等教育研究叢書 135(広島大学高等教育研究開発センター)(pp.39-55)		

氏名	山脇 直司	担当科目	公共哲学、公共演習
学位	哲学博士(ミュンヘン大学)		
業績 (教職に係るもの)	<著書>		
	平成20年1月	『グローバル公共哲学:活私開公のヴィジョンのために』 東京大学出版会	
	平成20年11月	『社会とどうかかわるか:公共哲学からのヒント』 岩波書店	
	平成21年11月	『社会思想史を学ぶ』 筑摩書房	

平成23年12月	『公共哲学からの応答:3.11 の衝撃のあとで』 筑摩書房
平成28年8月	Glocal Public Philosophy Lit Verlag
<学術論文等>	
平成27年1月	「近代哲学から STS と公共哲学へ:教養教育のための一視角」山脇直司編 『科学・技術と社会倫理』東京大学出版会
平成27年1月	「原子力時代における倫理概念の再構築」同上
平成27年11月	「公共哲学とは何か
平成28年3月	「共生科学と共生思想:その素描」『共生科学研究 No.11』 星槎大学紀要
平成28年5月	「地球的危機における公共哲学の役割」 『東洋学術研究』第55巻第1号
平成29年3月	「諸学問と倫理・哲学、ポスト専門化時代の知の統合」JST 開発戦略センター編『科学をめざす君たちへ——変革と越境のための新たな教養』
平成29年3月	「スポーツの公共哲学事始め」 『共生科学研究 NO.12』
<その他>	(所属学会) 日本哲学会、経済学史学会、進化経済学会、日本政治学会、日本共生科学会(会長)、社会思想史学会、日本平和学会、科学技術社会論学会、地球システム倫理学会(理事)

